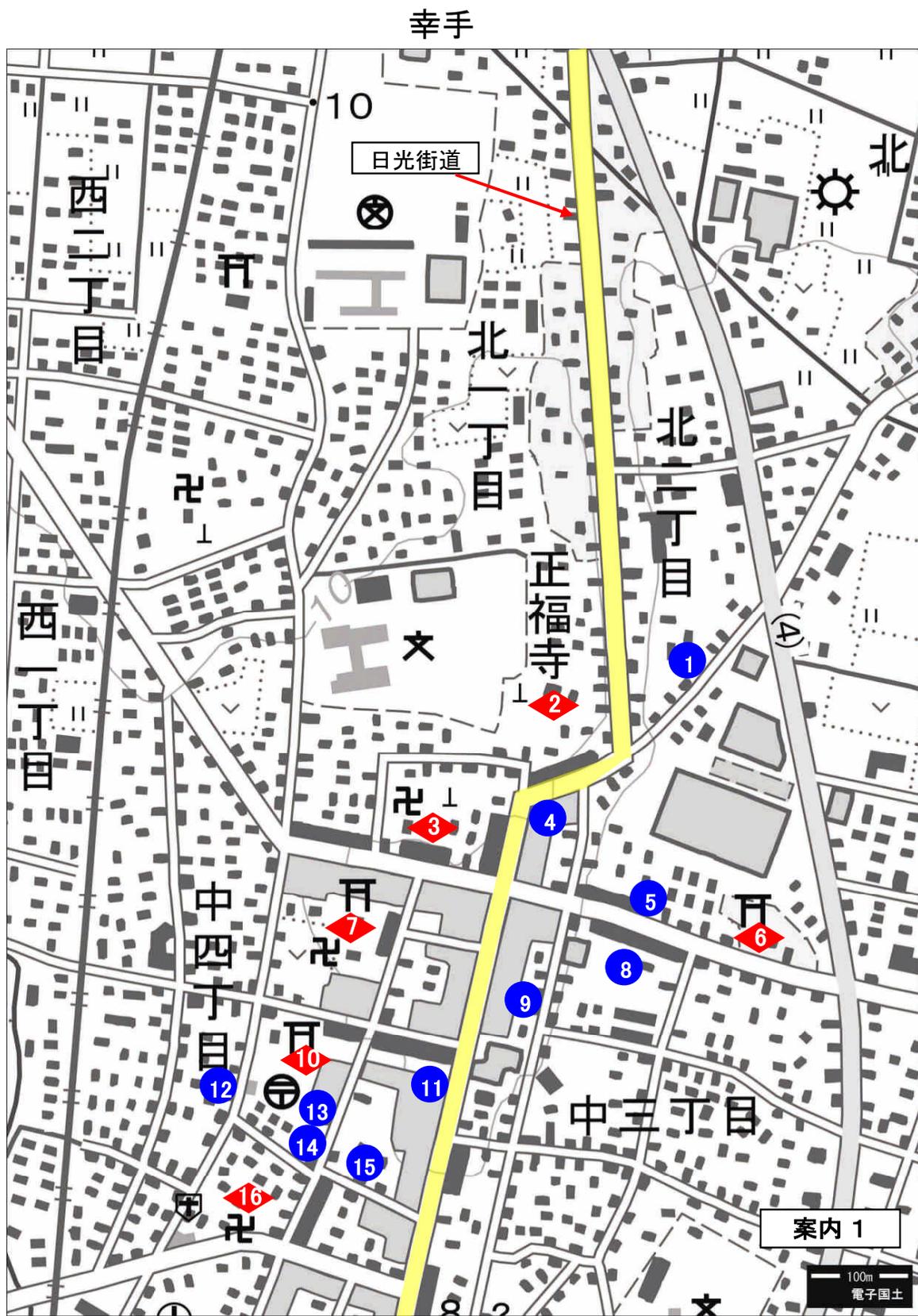


幸手



案内図

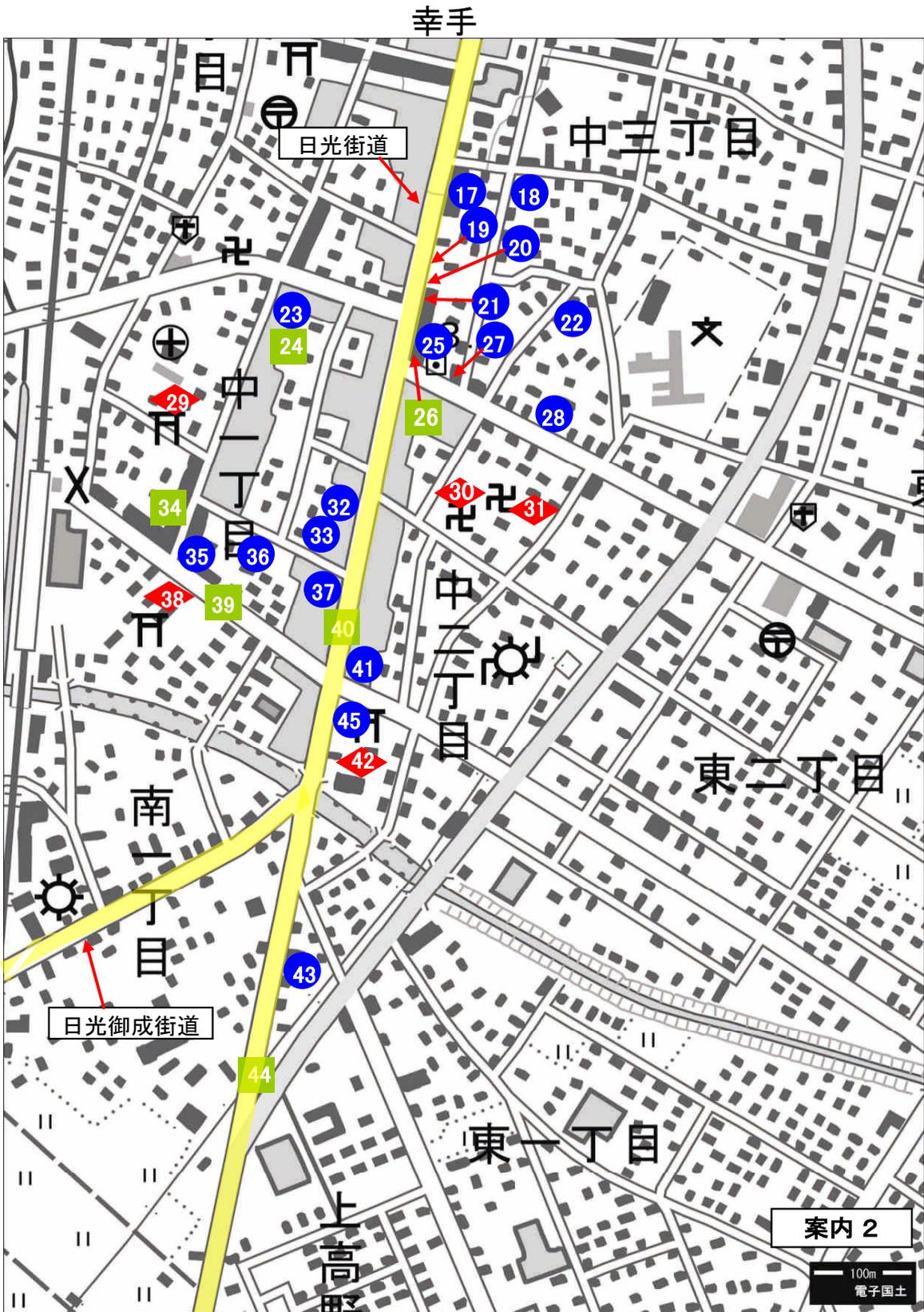
調査範囲



配置図

凡例

- ◆
史跡・寺社等
- その他の建造物
- 通り・広場・樹木他



配置図

凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

幸手



幸手は杉戸に次ぐ日光街道6番目の宿場町であり、日光御成道と合流する位置にある。街道の栗橋宿寄りに桜の名所「権現堂堤」がある。街道沿いには昔の面影を残す建物やファサードのみを改修した建物が残る。

(写真は日光街道)

1	2 -1	2 -2
<p>病院</p> 	<p>正福寺</p> 	<p>正福寺</p> 
<p>コンクリート打放し外壁。直線、三角、円の幾何学形状に開けられた窓が印象的なデザインである。</p>	<p>参道入口の石灯籠が大きく印象的な景観となっている。</p>	<p>古い仏様が印象的な寺院である。</p>
3	4	5
<p>聖福寺勅使門</p> 	<p>幸手キリスト教会</p> 	<p>住宅</p> 
<p>聖福寺は浄土宗の寺である。天皇の例幣使(れいへいし)や歴代将軍が休憩した。これはその勅使門。</p>	<p>四角錐の尖がった屋根、屋根に掛けられた十字架が目を引く。</p>	<p>石の門柱、銅板葺きの門扉、瓦の大きな屋根が印象的な蔵造りの住居。</p>

<p>6 浅間神社</p>	<p>7 雷電神社</p>	<p>8 病院</p>
		
<p>道路より3~4m高い土盛りの上にある、覆堂の中の社殿の欄間の彫刻が目を引く。</p>	<p>幸手で最も古い神社。美しい社。</p>	<p>白とグレーのツートーンの壁の平屋造り。ピラミッドのトップライトが目目を引く現代的なデザイン。</p>
<p>9 蔵</p>	<p>10 幸宮神社</p>	<p>11 店舗</p>
		
<p>黒い板壁、庭の大きなケヤキがランドマークとなって目を引く。</p>	<p>参道が長く良い。舞殿あり。大きさ、造り、古さが良い。神社特有の空間。</p>	<p>切妻、総2階の商家である。よくメンテナンスされている。</p>
<p>12 住宅</p>	<p>13 店舗</p>	<p>14 店舗</p>
		
<p>2階部分と平屋の取付方が現代的。</p>	<p>昭和初期を思わせるデザインの店舗である。</p>	<p>白壁が美しく、二重の屋根が印象的な商家である。</p>

15	門	16	幸手観音	17	店舗
			<p>門から見える景色(植栽や石畳)が美しい。</p>	<p>赤い屋根瓦が珍しく印象的な景観となっている。満福寺。安産の神様として親しまれている。</p>	<p>新しいファサードの裏に歴史ある瓦屋根と本体、板塀がある。</p>
18	住宅	19	病院	20	店舗
			<p>シルバーの金属板の壁が全体を覆う。住宅街の中でひと際目を引くデザイン。</p>	<p>かつての町医として親しまれていたことが伺える。</p>	<p>街道沿いの店舗。ファサードは新しく改装されている。</p>
21	店舗	22	住宅	23	店舗
			<p>3階建てのレトロな建物。2階より上が左右対称でプロポーションが美しい。</p>	<p>こげ茶色の板壁が昭和初期を感じさせる住居である。</p>	<p>下見板張りの商家である。蔵として使われているように見える。</p>

<p>24 路地</p>	<p>25 店舗</p>	<p>26 ポケットパーク</p>
		
<p>とても細い路地。</p>	<p>正面の店舗、銅板の雨樋、いぶしの瓦屋根、白い漆喰、2階窓の木の手摺が印象的なデザインである。</p>	<p>街角にある休憩スポット。以前ここは問屋場であった。 (問屋場とは街道にかかわる事務を管理する役所のこと) 日よけ付きベンチがある。</p>
<p>27 勤労福祉会館</p>	<p>28 整骨院</p>	<p>29 天神神社</p>
		
<p>全面の白いタイル貼りの外壁が目を引く。正面上部に5個の鐘が吊られている。前面にポケットパークがある。</p>	<p>淡い青色の板壁の昭和前半の雰囲気がある整骨院である。</p>	<p>地域のシンボルとして町名もこの神社にあやかり“天神”としている。</p>
<p>30 担景寺</p>	<p>31 -1 常光寺</p>	<p>31 -2 常光寺</p>
		
<p>浄土真宗の寺、立派な山門と本殿、銅製の燈籠、鐘楼、そして本殿前の銀杏の大木が印象深い。</p>	<p>天台宗の寺、赤く塗られた山門、銅板葺きの大きな屋根が目につく。境内には十八羅漢像がある。</p>	<p>境内には十八羅漢像がある。羅漢様とは、仏教の修行を完成して悟りの境地に達した人を阿羅漢といい、それを略した名称である。</p>

<p>32 -1 店舗</p>	<p>32 -2 店舗</p>	<p>33 住宅</p>
		
<p>横丁鉄道の面影を残す酒屋。家の中にレールを敷き、重い荷物の移動を行っている。敷地が短冊型で奥行きが深いための工夫である。</p>	<p>レールは10mほど奥まで続いており、昭和のアニメの世界にタイムスリップしたような不思議な感覚に陥る。</p>	<p>雨戸が板戸の昔風の民家である。二階窓上に欄間がある。</p>
<p>34 生垣の美しい通り</p>	<p>35 店舗</p>	<p>36 幸手劇場跡地</p>
		
<p>通りに面して手入れのゆき届いた植栽がよりよい景観をつくる例。</p>	<p>電気店を営む店舗。ファサードのフレームがタイル貼りで、商家の改装時によく見られるデザイン。</p>	<p>幸手劇場跡地。ドラえもんが乗った碑がある。幸手劇場は、1947年開業。幸手市唯一の映画館だったが、2005年に閉館した。</p>
<p>37 -1 旅館</p>	<p>37 -2 旅館</p>	<p>38 稲荷神社</p>
		
<p>現代的なデザインの旅館。裏門は江戸の面影が残る。</p>	<p>裏門。銅版の屋根、黒い板張りに化粧竹と粹である。</p>	<p>一色氏の守り神。赤い幟が華やかな神社。(陣屋稲荷)</p>

39	駅前通り	40	日光街道			41	店舗	
<p>整備されて間もない通りで無電柱化されている。 街路灯には桜がデザイン化されている。</p>		<p>桜のデザインの街路灯がある。 歩道はやや狭く、交通量が多い。</p>		<p>いぶしの瓦屋根、銅板の雨樋、戸袋の板が印象的な古い造りの店舗である。</p>				
42	神明神社	43	店舗			44	日光街道	
<p>街中の開いたスペースに石の鳥居、その奥に本殿が見える。鳥居近く几号高低標(英国式水準点)の石が残る。</p>		<p>敷地周囲の黒い板塀、入り口の門、竹の植栽で和を演出する。 特に黒塀が印象的なレストラン。</p>		<p>北に向かい、左が旧幸手宿の街中に行く日光街道、右が4号国道の分岐するY字路である。</p>				
45	住宅							
<p>国の登録有形文化財。 かつて醤油醸造業を営んだ旧家。 特徴ある外観により市民に親しまれている。</p>								